

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標	未舗装農村道路の通行性が確保され、市場や社会サービスへのアクセスが向上し、農村部住民のくらしが豊かになる。
(2) 事業内容	<p>【道路補修・橋梁建設研修（工事）について】</p> <p><u>I. エーヤワディー地域・ピャポン タウンシップ</u></p> <p>① チョンチャイ村：道路延長：1.5 km 研修参加者には①工事資機材管理方法、②土のうによる道路補修、③施工監督研修（リーダー、サブリーダー）を行った。 コンクリートによる路面舗装工事は全延長終了しており、土のうによる法面強化トレーニング（工事）を実施中である。 工事は80%が終了し5月中旬の雨期前にはすべての工事が終了予定である。（添付資料①参照要）</p> <p>② カンター村：橋長：22 m 研修参加者には①工事資機材管理方法、②橋梁建設工事方法、③施工監督研修（リーダー、サブリーダー）を行った。 工事は90%が終了し、4月下旬の水祭り（4月12日～22日）終了後には全工程を終える予定である。（添付資料①参照要）</p> <p><u>II. カレン州・ラインボエ タウンシップ</u></p> <p>① シンゲー 村落地域：2.7 km 研修参加者には①工事資機材管理方法、②土のうによる道路補修、③施工監督研修（リーダー、サブリーダー）を行った。 工事は80%が終了し5月中旬の雨期前にはすべての工事が終了予定である。（添付資料①参照要）</p> <p><u>III. ネピドー連邦直轄領・レイ ウェイ タウンシップ</u></p> <p>① カンラー村⇄タンロップ村：1.0 km 研修参加者には①工事資機材管理方法、②橋梁建設工事方法、③施工監督研修（リーダー、サブリーダー）を行った。 工事は80%が終了し5月中旬の雨期前にはすべての工事が終了予定である。（添付資料①参照要）</p> <p>【ワークショップについて】 上記事業地ピャポン、ラインボエ、レイウェイ タウンシップにおいて土のう工法に関するワークショップを行った。 同ワークショップにはタウンシップオフィサー、ローカル NGO グループ、僧侶、周辺住民を招待した。（添付資料①参照要） ワークショップ終了後には他地域での実地研修依頼も来ており今後は地域行政とも協議しながらワークショップ開催やデモンストラーションを行う予定だ。</p>

(ここでページを区切ってください)

(3) 達成された効果	添付書類②「成果リスト」参照要。
(4) 今後の見通し	<p>雨期開始前の5月中旬にはすべての工事が終了予定である。今後は以下の活動を実施予定である。</p> <p>①コミュニティ組織強化研修 コミュニティが直接行政や他支援団体等から道路補修、橋梁建設資金を取得できる様に維持管理計画や積算、プロポーザル作成方法等の研修を行う。</p> <p>②ワークショップ開催 工事終了後も政府関係者や他 NGO 団体へ向けてワークショップを行う。</p> <p>③交通安全研修 チョンチャイ、カンター村においては道路状況が改善された事によって交通量が増加し各ドライバーの走行平均速度も増加した。交通事故を避ける為に減速バンプや減速標識も設置したが、現在ミャンマーでは学校等で交通安全教育がなされておらず、地域、コミュニティレベルで「交通安全」への取組を自発的に行わなければならない。</p> <p>現在、カンター、チョンチャイ村では村長、学校、警察、僧侶らと協議し村独自の交通ルールを立案中である。それと併せて僧院や学校でも村長と僧侶から交通安全に関する話を住民に行っている。今後もこの活動を継続し、行政に対してもインフラ整備の必要性と共に「交通安全」への取組みも協議していきたい。</p> <p>④エンドライン調査 工事終了未だが既に本事業を通して事業実施地域に様々な生活環境の変化が起きている。(添付資料② 成果リスト参照要) 今後は時間をかけて詳細を調査し完了報告書にまとめる。</p>